



主権者教育の取組について

～宮城県選挙管理委員会～

令和8年4月23日（木） 9時00分～11時00分

第2回宮城県選挙期間中の情報流通の諸課題への
対処に関する検討会

今日のスピーカー

宮城県選挙管理委員会事務局

主幹（班長）

おおた まさとし

太田 雅俊





今日のメニュー

◎宮城県選挙管理委員会における主権者教育の取組をご紹介させていただきます。

～Menu～

- ・ 選管の立ち位置
- ・ 選管の取組（出前講座等）
- ・ 啓発から見えてきたこと
- ・ リテラシー教育の要素



選管の立ち位置

◎選管の役割（主権者教育的な観点）

公職選挙法

第6条（選挙に関する啓発、周知等）

～都道府県の選挙管理委員会～は、選挙が公明かつ適正に行われるように、常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治常識の向上に努めるとともに、特に選挙に際しては投票の方法、選挙違反その他選挙に関し必要と認める事項を選挙人に周知させなければならない。



選管の立ち位置

◎選管への期待と限界

<現状>

- 投票率が低下傾向 & 若年層の投票率が低い状況の中、選管の主権者教育に対する期待は増

<課題>

体制面、内容面（リテラシーや教育は専門外の部分も）など

- 選挙啓発の枠組みを超えた取組には限界がある
- 公平、中立等を意識した取組である必要性

- （選挙業務の中）主権者教育の充実や質的な向上



選管の取組

◎選挙啓発リーフレットの作成

・県内の全小6・中3・高校3生に配布

どのくらいの人が投票しているの？

宮城県の投票率

選挙区分	行った%
R6 衆議院議員選挙	52.16%
R4 参議院議員選挙	48.80%
R3 知事選挙	56.29%
R5 県議会議員選挙	35.93%

R6 衆議院議員選挙単年別投票率(抽出調査)

投票率は若者ほど低く、高齢者ほど高い傾向にある

年齢	投票率
18歳未満	22.22%
18歳~24歳	26.02%
25歳~29歳	32.71%
30歳~34歳	39.46%
35歳~39歳	41.50%
40歳~44歳	43.78%
45歳~49歳	46.90%
50歳~54歳	50.91%
55歳~59歳	55.05%
60歳~64歳	58.92%
65歳~69歳	65.33%
70歳以上	66.03%

若者が投票に行かないとどうなるの？

若者の意見が政治・政策に反映されない

日本の社会は、「少子高齢化」、「物価や税金」、「医療制度」、「雇用や働き方」、「社会保険」など、若者の将来に関わる様々な問題や課題を抱えています。若者の声を持った代表者が選ばれないと、若者にとって良い政策は実現されず、暮らしも苦しくなります。

若者にとって重要な決断がある。若者にとって重要な決断がある。若者にとって重要な決断がある。若者にとって重要な決断がある。

「選挙」や「投票」は、私たちの生活と深く関わっています。

どちらの意見が反映されやすいだろうか？

60歳代 投票者数 996万人 (146,721人/68.02%)

18歳~24歳 投票者数 486万人 (137,273人/33.40%)

2倍以上

まずは政治や政策について調べてみよう！

- いまだ地域や社会で起きていることに関心を持つことが大切です。
- 情報を集めてみると、自分なりの考えが育てられるかもしれません。
- ・・・ただし、情報の受けかたには気を付けて！(メディアリテラシーを養おう。)

※メディアリテラシーとは、情報を正確に受け取り、情報を集め、発信し、活用していく能力のこと

宮城県選挙管理委員会事務局
宮城県仙台市青葉区三丁目1番1号 TEL:022-211-2343
発行日:令和7年6月

知ろうよ、選挙。行こうよ、投票。

自分たちの未来

自分たちで創る

届けよう、キミたちの声も！

「社会を自分たちの手で創る」それは難しいと感じる方もいるかもしれませんが、18歳になれば、選挙権を持ち、選挙に行くことができます。「投票」という形で皆さんの「思い」が声として社会に反映させることができます。世の中には様々な問題や課題があります。その解決方法は、どれも「ベスト」な正解は簡単には見えないかもしれません。また、「ベスト」ではなく、「ベスト」に近い解決策を探ando、それが良いのです。皆さんの考えで、皆さんの基準で、その「思い」が「声」を上げてくださいませんか？

選挙のこと

知ろう！

投票者を選ぶ基準

選挙を望むねば、考えが変わるかもしれません

皆さんの考えに馴染みはない。投票者を選ぶ際には、候補者の顔や所属する政党、選挙区や選挙区の人、年齢、性別など、様々なポイントがある。一度きりしかない選挙だから、大事なことは自分自身でしっかりと考えること。人はその時々で立場や環境、そして、考え方も変わります。その時々、選挙区や選挙区は変わります。今の考えで、選挙区や選挙区は変わります。今の考えで、選挙区や選挙区は変わります。

自分のため 子どものため 家族のため

自分の将来のために投票しよう

候補者の情報収集

候補者の名前などを知るには

- 選挙公報 - 投票日の2日前までに、全世帯に配布
- 政治記者 - 政治記者や新聞記者の取材
- 候補者のSNSやマスコット
- テレビや新聞、街頭演説
- 個人演説 - 候補者の生の声を聞く機会

候補者の政策などを知るには

- 選挙公報 - 投票日の2日前までに、全世帯に配布
- 政治記者 - 政治記者や新聞記者の取材
- 候補者のSNSやマスコット
- テレビや新聞、街頭演説
- 個人演説 - 候補者の生の声を聞く機会

選挙に行くときの心構え

いろいろな調べでも、よく分からないときは、あまり難しく考えずに身近なところから考えよう。自分自身で、何一つ分からないので、選挙区や選挙区、選挙区に投票しよう。自分自身で、何一つ分からないので、選挙区や選挙区、選挙区に投票しよう。

自分の 街 投票

自分の 街 投票

自分の 街 投票

誰でもできる選挙運動

選挙運動だけでなく、誰にでもできる選挙運動というものもあります。ただし、これらができるのは、18歳になってから、選挙権を得てからにだけ限られます。また、選挙日当日はできませんのでご注意ください。

- 声かけや訪問
- 一人一人に電話して
- ウェブサイトやSNS

投票所の中ってどうなってるの？

投票の方法

投票所に入ったら、受付を行います。用紙を渡して、本人確認を行います。投票用紙の交付を行います。投票用紙の記入を行います。投票用紙の封入を行います。投票用紙の封入を行います。

5 min

投票にかかる時間の平均は約5分です。

無効投票の例

無効投票の例

- 投票用紙の封入が不十分
- 本人の意思を明らかにしていない
- 投票用紙の封入が不十分
- 本人の意思を明らかにしていない

投票の制度

投票日に行けず、投票所に行けない。投票日に行けず、投票所に行けない。投票日に行けず、投票所に行けない。

期日前投票

不在者投票



選管の取組

◎選挙出前講座の実施

- ・主に高校を対象として県内約30校で実施
(およそ県選管20校、市町村選管10校を担当)

知ろうよ、選挙。行こうよ、投票。

宮城県選挙管理委員会
Election Administration Commission

令和7年度 新しい有権者のための 選挙講座 in 大河原産業高校

令和8年3月3日(火) 8時55分～10時45分
大河原産業高校2年生のみなさん

今日のスピーカー
宮城県選挙管理委員会事務局

おあた まさとし
太田 雅俊



主催：宮城県選挙管理委員会・宮城県明るい選挙推進協議会
大河原町選挙管理委員会・大河原町明るい選挙推進協議会

Miyagi Prefectural Government

1

知ろうよ、選挙。行こうよ、投票。

宮城県選挙管理委員会
Election Administration Commission

今日のメニュー

◎選管職員として…というよりは、いち
社会人としてお送りする選挙のお話

～Menu～

<前半の部>

- ・今日お伝えしたいこと
- ・選挙はなぜ大事か？
- ・選挙の現実
- ・投票してみよう

<後半の部>

- ・投票用紙のヒミツ
- ・選挙の制度ほか
- ・選挙のヒミツ？
- ・投票してみた

Miyagi Prefectural Government

2



選管の取組

◎選挙出前講座の実施

- ・講義のほか、先生や生徒による演説、生徒同士による意見交換、模擬投票などを実施

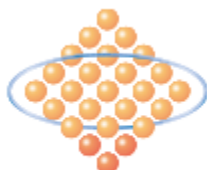




選管の取組

◎学都仙台コンソーシアムとの連携

・若年層（主に大学生）の投票率向上に向けた取組



学都仙台コンソーシアム

人と産業と都市の魅力を育む
「学都仙台」をめざして

- 大学等の高等教育機関と市民・企業・行政が互恵的な関係結び、ともに高め合い、相互に発展の機会を創造していく「知が連携する学都仙台」をめざす。
- 大学等の高等教育機関の知的資源が生かされる都市の個性を内外にアピールし、学都の持続的発展を可能とする更なる集積を呼ぶ「知の創造都市仙台」をめざす。



石巻専修大学



尚綱学院大学

聖和学園短期大学

東北福祉大学
TOHOKU FUKUHI UNIVERSITY

TOHOKU BUNKA GAKUEN UNIVERSITY
東北文化学園大学

放送大学 宮城学習センター

仙台赤門短期大学

仙台白百合女子大学
Sendai Shirayuri Women's College

仙台青葉学院大学
Sendai Seiyō Gakuin University

愛のある知性を
宮城学院女子大学

国立大学法人
宮城教育大学

宮城誠真短期大学
MIYAGE SEISHIN JUNIOR COLLEGE

仙台青葉学院短期大学
Sendai Seiyō Gakuin College

仙台大学

学校法人
東北医科薬科大学

公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

仙台高等専門学校
National Institute of Technology, Sendai College

公益財団法人 仙台観光国際協会

東北学院大学

東北芸術工科大学

未来のエスキースを描く。
東北工業大学

仙台商工会議所
SENDAI CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

一般社団法人
東北多文化アカデミー
Tohoku Iboroku Academy Foundation
学都仙台日本国研修センター

一般社団法人 みやぎ工業会
MIYAGI INDUSTRIAL ASSOCIATION

TOHOKU SEIKATSU HONKA UNIVERSITY
東北生活文化大学

TOHOKU SEIKATSU HONKA JUNIOR COLLEGE
東北生活文化大学短期大学部

TOHOKU UNIVERSITY
東北大学

理化学研究所

NanoTerasu
NanoTerasu総務事務局

宮城県

仙台市
SENDAI CITY





選管の取組

◎学都仙台コンソーシアムとの連携

<内容>

- ・社会課題について考えるワークショップ等を実施

- ・社会や政治、選挙とのつながりを意識するキッカケ（場）を提供することで、社会を見る力をもった主権者を育成（人材育成）するとともに、政治や選挙、社会への興味関心について同世代への波及を狙いながら、若年層の投票率向上を目指す。

選管の取組

◎学都仙台コンソーシアムとの連携

- <選挙カフェ> ・グループディスカッションなど
- ・軽食や飲み物を用意し、リラックスした雰囲気の中で、政治や選挙について話ができるイベントを実施。





選管の取組

◎学都仙台コンソーシアムとの連携

- < 公開講座 >
- ①『合意形成』と『政治的決定』について：身近な問題から考える・議論する
 - ②主権者教育の課題：論争問題の考え方・政治的中立性を考えよう
- ・将来社会科教師を志す学生を対象にした公開授業を実施。



選管の取組

◎学都仙台コンソーシアムとの連携

<選挙啓発ポスターコンテスト>

- ・コンソ加盟大学の学生を対象としたポスターコンテストを実施。最優秀賞を選挙啓発に使用。





選管の取組

◎学都仙台コンソーシアムとの連携

- <市町村選管との連携> ・ショッピングモールでの子供向け模擬投票イベント
・市町村選管と大学生が連携し、選挙啓発を企画立案し、実践。

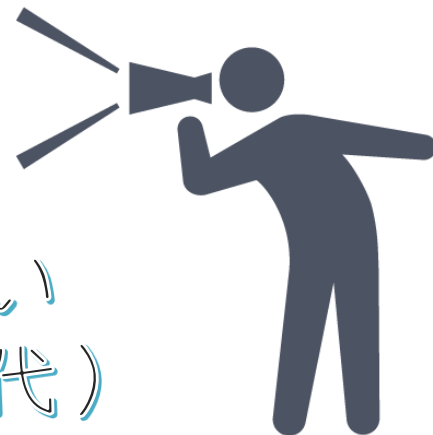




啓発から見えてきたこと

◎直接聞いた若者の声

- ・選挙ってやる意味ある？
- ・政治や選挙は自分には関係ない
- ・自分が投票しても意味がない
- ・誰に投票したらよいか分からない
- ・自分たちは恵まれていない（世代）
- ・候補者の情報や訴えがわかりづらい
- ・SNSの情報が真実かは興味ない





啓発から見えてきたこと

◎主権者教育で伝えるべきは…

- 「選挙の制度」を伝えること以上に重要なことがあるのではないか？
- 若者が社会や地域（課題）に関心を持つ重要性
→ 社会と自分の関り = 自分ごと
- 情報（SNS）との関わり方を理解する重要性
→ メディアリテラシー

ただ、まだ道半ば…

- 人材育成の視点を踏まえた選挙講座



リテラシー教育

◎リテラシー教育の導入

- ・中・高校生向けのリーフレットに選挙の意義やメディアリテラシーの要素を追加

選挙ってどうして大切なんだろう？

学校を例にすると… ○○中学校では、修学旅行の行き先を決めようとしています。

全校集会で決めようとする

各クラスの代表者で話し合い

北海道に行こう
東京に行こう
愛知に行こう
大阪に行こう
京都に行こう
福岡に行こう
沖縄に行こう

大勢の人が一度に話し合うと、たくさんの意見がでて、話がなかなかまとまらないよね。

クラスの代表者が、クラスの意見をまとめて代表者どうして話し合えば、話し合いもスムーズだね。

3年1組 (Cさん)
3年2組 (Bさん)
3年3組 (Cさん)
3年4組 (Dさん)

東京に行こう
沖縄に行こう

わたしたちの国では、国民が選挙で選んだ代表者によって、政治が行われ、わたしたちのくらしや社会をよりよくするための仕事が進められています。

ひとりひとりの投票により政治を行う代表者を決めることで、政治に参加する権利が守られています。だから、選挙に参加(投票)することはとても大切なことなのです。



若者が投票に行かないとどうなるの？

若者の意見が政治・政策に反映されない

いま日本社会は、「少子高齢化」、「物価や税」、「環境問題」、「雇用や働き方」、「社会保障」など、若者の将来に関わる様々な問題や課題を抱えています。若者の視点を持った代表者が選ばれないと、若者にとって良い解決策とはならないかもしれません。

知らぬ間に重要なルールが決まっている、若者にとって暮らしにくい世の中になっている…そうならないためにも若者が自ら「選ぶ」ことが重要なのです。

「選挙」や「政治」は、私たちの生活と深く関わっているのです。

ポイント 数値で見る投票者数

どちらの意見が反映されやすいだろうか？



まずは政治や政策について調べてみよう！

- いま地域や社会で起こっていることに関心を持つことが大切です。
- 情報を集めてみると、自分なりの考えが見えてくるかもしれません。
- …ただし、情報の受け止め方には気を付けて！(メディアリテラシーを養おう。)

※メディアの特性を理解した上で、情報を読み解き、情報の表現、発信を含め、行動につなげていく能力のこと







リテラシー教育

◎リテラシー教育の導入

- ・中・高校生向けのリーフレットに選挙の意義やメディアリテラシーの要素を追加

届けよう、
キミたちの声を!

「社会を自分たちの手で創る」…それは難しいと感じるかもしれませんが、18歳になれば、選挙権を持ち、選挙に行くことができます。「投票」という形で皆さんの「思い」や「考え」を社会に反映させることができます。世の中には様々な問題や課題があります。その解決方法は、どれも「正解」・「不正解」と単純に割り切れるものばかりではありません。また、「ベスト」ではなく、「ベター」な選択しかないかもしれません。それでも良いのです。皆さんの視点で、皆さんの基準で、その「思い」や「考え」をぶつけてみませんか?

若者が投票に行かないとどうなるの？

若者の意見が政治・政策に反映されない



いま日本社会は、「少子高齢化」、「物価や税」、「環境問題」、「雇用や働き方」、「社会保障」など、若者の将来に関わる様々な問題や課題を抱えています。若者の視点を持った代表者が選ばれないと、若者にとって良い解決策とはならないかもしれません。

知らぬ間に重要なルールが決まっている、若者にとって暮らしにくい世の中になっている…そうならないためにも若者が自ら「選ぶ」ことが重要なのです。

「選挙」や「政治」は、私たちの生活と深く関わっているのです。

ポイント 数値で見る投票者数

第50回衆議院議員総選挙（R6）における推計R6.10.1人口推計・投票率



どちらの意見が反映されやすいだろうか？

まずは政治や政策について調べてみよう！



- いま地域や社会で起こっていることに興味を持つことが大切です。
- 情報を集めてみると、自分なりの考えが見えてくるかもしれません。
- ……ただし、情報の受け止め方には気を付けて！（メディアリテラシー※を養おう。）


※メディアの特性を理解した上で、情報を読み解き、情報の表現、発信を含め、行動につなげていく能力のこと



リテラシー教育

◎リテラシー教育の導入


- ・ 出前講座にメディアリテラシーの要素を追加

- ・ SNSで情報を受けとることが多くないですか？ 
- ・ メディアリテラシーを養い、情報に対して自分なりの判断・考えを持とう！

<メディアリテラシー>

メディアの特性を理解した上で、情報を読み解き、情報の表現、発信を含め、行動につなげていく能力のこと

SNSの情報は正しい？

- ・ SNSは良くも悪くも アルゴリズムの特性上、情報が偏りやすいとされているので、要注意！ 
- ・ 事実でない情報もたくさんあるので、その見極めが大切です。



リテラシー教育

◎リテラシー教育の導入

- ・ 出前講座にメディアリテラシーの要素を追加

エコーチェンバー現象

<世の中みんなが同じ意見を持っている？>

- ・ 閉じた小部屋の中で声が反響することによって、あらゆる方向から声が聞こえるように、自分と似た意見ばかりに触れてしまうようになること。

<総務省のHP「情報通信白書 for kids」から>



図1：自分と似た意見ばかりに触（ふ）れてしまうようになる「エコーチェンバー現象」

フィルターバブル現象

<自分が受け取った情報は偏りない情報？>

- ・ SNS側の分析や学習により、「興味ないはず」と判断された情報が自動的にほじかれてしまい、好みでない情報に接しづらくなること。

<総務省のHP「情報通信白書 for kids」から>

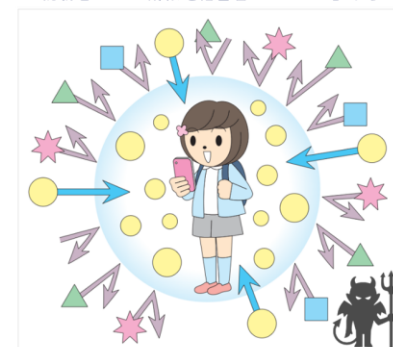


図2：自分が知りたい情報が優先（ゆうせん）して表示されるため、その他の情報が見えづらくなってしまふ「フィルターバブル現象」



リテラシー教育

◎リテラシー教育の導入

- ・出前講座にメディアリテラシーの要素を追加

選挙とSNS

<「いいね」はOK!?!>

- ・FacebookやXなどの「いいね」機能を使うことは選挙運動になるのか?



⇒ 実は議論があります。

大量のいいねにより、表示されやすくなる意図があるなど

単に「いいね」をすることだけでは、一般的には、直ちに選挙運動に当たらない場合が多いと考えられますが、個別具体的な状況によっては選挙運動となる場合があります。

選挙とSNS

<「リポスト」は大丈夫!?!>

- ・Xなどの「リポスト」機能により、選挙運動に関するものを再投稿することは?



⇒ 選挙に関する内容を新たに表示・拡散することになり、選挙運動になる可能性が高いです。

- ・選挙期間中、18歳になっていない人は控えた方が無難です。
- ・選挙当日は、有権者も控えましょう。

知らず知らずに違反になることも

知ろうよ、選挙。行こうよ、投票。

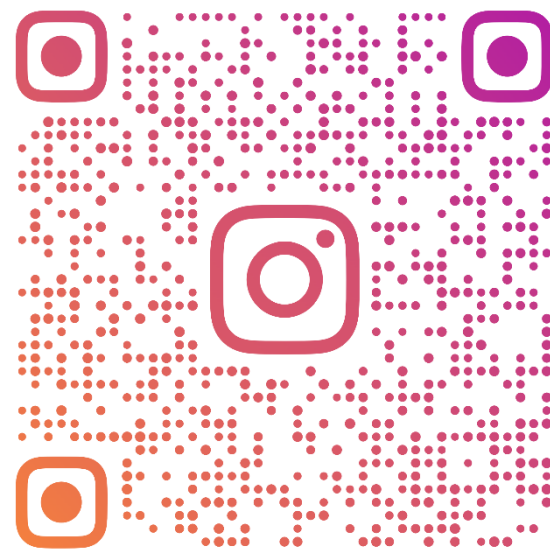


宮城県選挙管理委員会
Election Administration Commission



ご清聴ありがとうございました

宮城県選管でSNSやっています。



MIYAGI_SENKAN

